

50歳以上の方へ：带状疱疹ワクチンに関するお知らせ

Q. 带状疱疹ってどんな病気？

水痘（水ぼうそう）のウイルスが引き起こす病気です。過去に水ぼうそうに罹ったことがある場合、その後も長期間ウイルスが体の中に潜んでいて、体力が低下した時や高齢になって抵抗力が下がった時に症状が現れます。神経痛を伴う水疱ができ、水疱が治った後も強い神経痛が数ヶ月～数年続き日常生活が強く妨げられることがあります。顔面や頭部にできることもあり、顔面神経麻痺などを起こす場合があります。

Q. ワクチンを打った方が良いのはどんな人？

水ぼうそうに罹ったことがある50歳以上の方におすすめします。

Q. どんなワクチンなの？

水痘ワクチン；商品名 乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）と带状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）の2種類があります。

Q. 2つのワクチンの違いを教えてください。

	水痘ワクチン	带状疱疹ワクチン
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
必要な接種回数	1回	2回（初回と2か月後・遅くとも6か月後）
接種部位	皮下注射	筋肉注射
予防効果	約50～60%	約90～98%
持続効果	5年目以降は効果が減少し8-10年で消失	10年以上
副反応	接種部位の痛み、腫れ、発赤 全身倦怠感や発熱は稀	接種部位の痛み、腫れ、発赤 筋肉痛、全身倦怠感、発熱など
禁忌	本製剤のアレルギーのある方 妊婦、免疫不全*のある方	本製剤のアレルギーのある方
費用	8,000円(税込)	23,000円(税込)/回

- * 空港関連職員様は特別価格でご案内致します。詳細についてはクリニックにお問い合わせ下さい。
- * 先天性及び後天性免疫不全状態の人とは：急性・慢性白血病、骨髄リンパ系に影響を与えるその他の疾患、HIV感染のある方
- * 副腎皮質ステロイド剤、免疫抑制剤を使用している人は水痘ワクチンは接種できません。

Q. どちらのワクチンを打ったら良いのでしょうか？

予防効果が高く10年以上持続するという点で、2回の接種が必要で費用が高めですが带状疱疹ワクチンをお勧めします。クリニックのスタッフは带状疱疹ワクチンを接種しています。

Q. 新型コロナウイルスワクチンやインフルエンザワクチンと間隔をあける必要がありますか？

水痘ワクチン、带状疱疹ワクチン、いずれのワクチンも新型コロナウイルスワクチンと14日以上間隔をあける必要があります。（インフルエンザワクチンと間を開ける必要はありません。）

予約をいただいてからワクチンを入荷しますので、ご希望の方はお電話下さい。
(TEL03-5708-8011)

入荷には約1週間ほどお時間をいただくことがありますのでご了承ください。

当クリニックではいずれのワクチンも接種が可能です。

*** 予めどちらのワクチンを打ちたいか決めてからご予約ください。**

* 接種の当日の医師の問診によっては接種できないと判断する場合がありますので予めご了承ください。

